

高島市謡曲のつどい《今津謡曲同好会・朽木謡曲同好会・謡曲仕舞クラブ・謡曲クラブ》

6月19日、各支部に所属する謡曲クラブが一堂に集い市内で発表会を開催しました。日本の伝統芸能である能楽。その脚本部分を声に出して謡うことを謡曲といい、毎年、発表会で各自の技術向上と謡曲を学ぶ者同士の親睦を図っています。他にも地域の神事や各謡曲会に出演し、日々研鑽に努めています。興味のある方、まずは見学からお気軽にどうぞ。



冠句作品展示とあわせて一般投句募集！《親愛社》



7月1日～31日にかけて、親愛社の皆さんが今津図書館にて作品展示と市民冠句の募集をしました。冠句は、冠題の下に題をイメージする中7・下5の12文字で表現する短詩文芸で、季語の制約はありません。親愛社では、2ヶ月に1回、5つの冠題で投句を募集し、互選で優秀句を決める市民冠句を開催しており、8月で250回を迎えました。来年には記念投句会も予定しており、今後も冠句のおもしろさを広く知ってもら



べく活動が続きます。また、今津ショッピングセンターリプル（平和堂）や新旭公民館等でも随時作品展示をしています。市民冠句はどなたでも投句できますので、チャレンジしてみてください。はいかがでしょうか。

観葉寄せ植え教室を開催しました《マキノ支部・マキノ花とみどりの会》

7月28日にマキノ公民館にて、井花弥生さんを講師に招き「夏を涼しむ」をテーマに観葉植物の寄せ植え教室を開催しました。真夏日が続いていましたが、ガラス鉢に室内で楽しめる観葉植物をいくつか植えこんで、目から涼しくなる爽やかなグリーンインテリアが完成しました。ガラス鉢は水やりの管理が簡単なうえ、カラーサンドを使ってカラフルな模様を楽しむこともでき、土の代わりにハイドロボールを使えば虫が付きにくく育てやすいとのことです。マキノ花とみどりの会では、毎年、秋に菊・盆栽展の開催や寄せ植え教室、サルビア等を育てて公共施設等に配布する花いっぱい活動を通じて、地域づくりにと楽しみながら交流しています。

